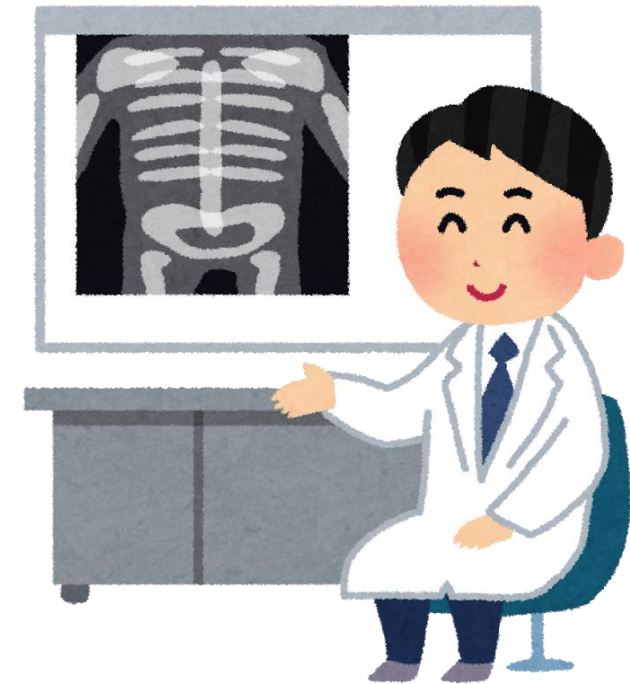
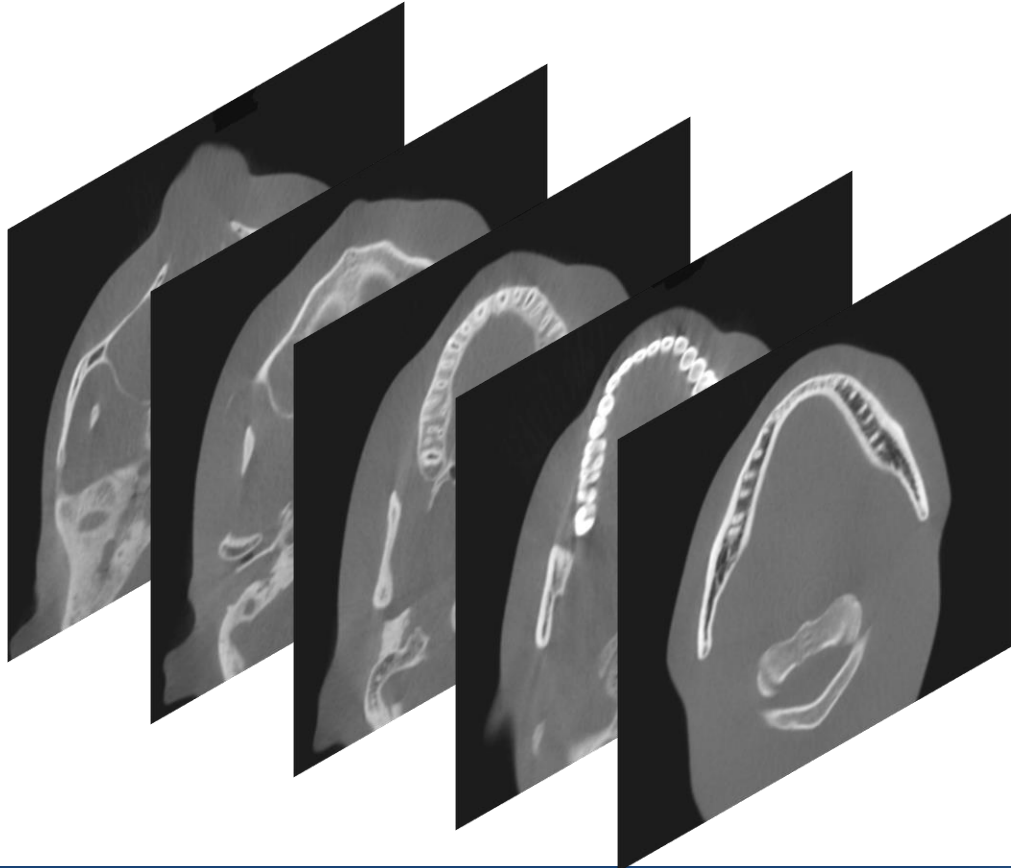


# 歯科放射線科



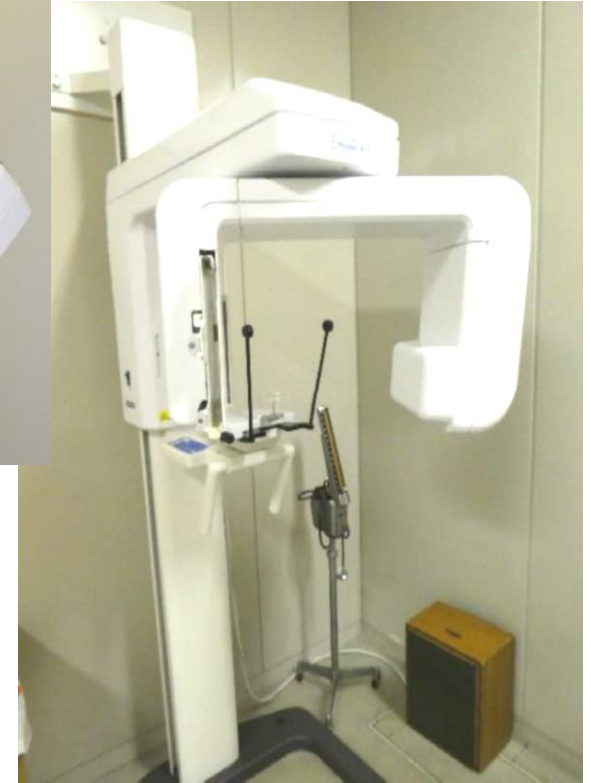
昭和医科大学  
SHOWA Medical University

- 歯科放射線科での研修は、歯科診療に頻用される画像検査・診断および医療安全の面から被曝管理について習熟できるように配慮しています。
- 各科から患者さんが集まるため、様々な病態の画像診断を研修できます。



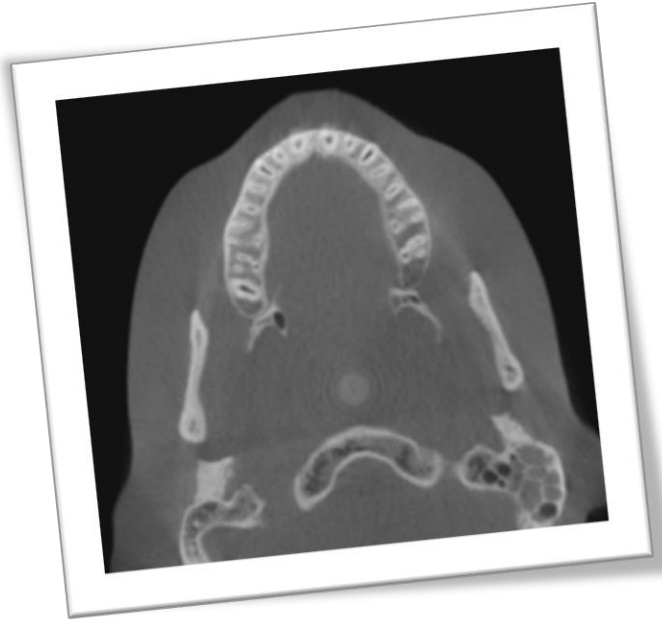
# 撮影装置、検査の習熟

- 口内法 X 線撮影装置 5台 (IPスキャナ: 5台)、  
パノラマ X 線撮影装置 2台、歯科用コーン  
ビームCT装置 2台、マルチスライスCT (全  
身用CT装置) 1台を有しています。



- 各種検査の習熟について  
- 口内法およびパノラマ X 線検査は単独で、  
その他の検査は指導医と共に実施できるようになるのが目標です。

# 画像の読影、被曝管理



- 読影について：当科で撮影された画像を指導医と共に読影し画像診断能力の向上を図ります。
  - 口内法 X 線画像、パノラマ X 線画像の読影。
  - 歯・歯周組織疾患の歯科用コーンビームCT画像の読影。
  - インプラント術前検査、顎口腔領域における腫瘍性病変のCTおよびCBCT画像の読影。
  - その他、PACS に保存されている過去画像から、横（各科の様々な病変）、縦（経時的な病変の変化、治療過程）に読影。

- 医療で使用する放射線および放射線機器は、社会的・法律的に厳格な管理が必要とされています。当科の研修を通じて個人被曝管理および環境と放射線機器の管理を研修します。

